# スモールワールドコーヒーアワー Small World Coffee Hour 2022 年度 活動報告

総合文責:早川佳太

#### 1. 団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」(以下、コーヒーアワー)を企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い、繋がることが出来る場を提供することを目的として、2005年後期に発足した。以降、イベント内容に工夫を疑らし、組織運営を円滑化することで、15年以上継続するに至っている。

## 1.1 理念

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した誰もが楽しめるイベントを行えるように心掛けている。

#### 1.2 特徴

- ・有志の学生が中心となり活動している。(学部・学年・国籍は問わない)
- ・誰でも参加できるオープンなイベントを月1回のペースで開催できるよう、企画・運営を 行っている。
- ・イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマを設定し、アクティビティを実施している。

## 2. 活動紹介

#### 2.1 活動について

#### 2.1.1 ミーティング

週1回の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割 分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加で きなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

## 2.1.2 広報活動

各イベントのポスターを作成し、学内に掲示する。コーヒーアワーの Facebook, Instagram にポスターを投稿する。また、海外留学室等のメールで広報していただく。今年度は SNS による広報が中心であった。

#### 2.2 コーヒーアワーについて

#### 2.2.1 当日の動き(目安)

#### (1) 対面開催

15:00 国際棟給湯室にてコーヒーを準備/会場で企画書に沿って設営開始

16:15 受付開始

16:30 イベント開始

18:00 イベント終了、片付け

18:30 振り返りミーティング

#### (2) オンライン開催

11:20 スタッフが web ミーティング上に集まる

11:50 参加者の入場を許可する

12:50 イベント開始

12:55 イベント終了

## 2.2.2 今年度の振り返り

今年度は5、6、8、11、12、2月の開催となった。今年度は全イベントを対面にて開催し、ボードゲームや工作、年賀状作りやスポーツを通して国際交流をすることができた。対面での開催はオンライン開催に比べ、イベント中やその前後の参加者・スタッフ間のコミュニケーションがとりやすく、今年度は国内学生・国際学生相互の親善友好に一層本団体は貢献できたものと考えている。

## 3. 年間行事記録

#### 3.1 【4月·11月】合同説明会

日時: 2022年4月27日(水)、5月9日(月)、5月13日(金)、5月18日(水)、 11月17日(木)、11月24日(木)、11月30日(水)全て12:15-12:50

場所: 国際棟2階207教室、3階301教室

参加人数:約25人(春学期)、約30人(秋学期)

#### イベント概要:

#### 実施した感想:

例年は春学期の開催が中心であったが、今年度は秋 学期も実施した。春学期は例年通り学部や大学院の 新入生の参加が多かったが、秋学期は2年次以降の 学生や秋入学の国際学生の参加もあった。国際交流 に学年の途中で興味を持ち始める学生は当然おり、 また春学期に複数サークルに加入した後に夏に向け て整理を始める学生が多いことについても鑑みる と、秋学期にも新メンバーの勧誘を行う意義は大き いと言える。



## 気づいたこと(改善点など):

各団体からの活動紹介については特に問題なく円滑に実施できていたものと思うが、その後の Q&A セッションや座談会への参加率が高くなかった点については改善の余地がある。ただ説明を聞いただけの参加者と名前を聞きながら各団体のメンバーと会話した参加者では、その後の団体加入率に大きな差があると実感しており、活動紹介後の各参加者への声掛けや座談会に参加しやすいような開催日時の工夫が必要であると考える。

## 3.2 【5月】Board Games

日時:2022年5月25日(水)14:45·16:15 場所:国際棟2階 CALEフォーラム 参加人数:約30人(スタッフを含む)

## イベント概要:

コーヒーアワーは少なくとも半年に一回ボードゲームイベントを開催している。今回はシンプルな形で、様々なボードゲームをテーブルごとに置いて、参加者は好きなゲームを選んで遊んだ。ゲームは、人生ゲーム(モノポリー、ドラえもんの世界旅行ゲーム)、ジェンガ、UNOなどがあった。もともとは他のゲームをやりたい場合は、他のテーブルに移ることになると企画したが、最初からできたグループメンバーの入れ替えが少なく、同じグループのままゲームを変えたグループもいた。参加者はゲームをやりながら楽しそうにお互いを知り合っていた。

## 実施した感想:

このようなイベントでは知らない人とも話しやすいと思った。ゲームをやると皆だんだん落ちつくようになり、一緒に笑ったりする機会も多い。また、イベントが始まったらスタッフとしても管理することがあまりないので、十分にゲームと交流を楽しむことができる。今回もみんなと話したり笑ったりすることができて楽しかった。



## 気付いたこと(改善点など):

定期的に(例えば、20分や30分ごとに)チームメンバーを混ぜたら良いかもしれない。そうすれば、参加者は新しい人と話す機会が増えると思う。

### 3.3 【6月】Japanese Crafts

日時: 2022年6月24日(金) 16:30-18:00

場所:国際棟2階 CALEフォーラム 参加人数:約30人(スタッフを含む)

#### イベント概要:

対面で実施。参加者は団扇の型紙にスタンプやペインティングにてオリジナルのイラストを作り、団扇の骨に貼り付けて団扇を製作した。3つのテーブルを1つは絵具、残り2つはスタンプと和紙というように分割することで、参加者が1つのテーブルに密集しないように工夫した。また、全員が名札を付けることで初対面でも気軽に会話できる環境にした。

#### 実施した感想:

私にとって初めてスタッフとして参加したコーヒーアワーのイベントであり、スタッフとして参加者に楽しんでもらえるか不安だったが、本番は参加者全員が楽しく交流しており、私自身も非常に楽しいイベントになってうれしかった。また、団扇のイラストには参加者の個性がそれぞれ発揮されており見ていて楽しかった。



## 気づいたこと(改善点など):

見ていて友人、知人同士での会話が多く、初対面の方との交流があまりなかったと感じた。 グループをスタッフ側で作るなどの工夫が必要だと思った。

## 3.4 【8月】LET'S PLAY GAMES!

日時: 2022年8月8日(月) 16:00-18:00

場所:国際棟1階ラウンジ

参加人数:約20人(スタッフも含めて)

#### イベント概要:

対面で実施。4つの机を用意して、それぞれの机でワードウルフ、UNO、ジェンガ、ブラックジャックの4種類を行う想定で準備。当日は参加者の数が少なかったので英語で話す机と日本語で話す机に分かれ、遊ぶボードゲームを各々が自由に選択した。その後それぞれの机で名古屋に関する物事を数字の代わりにしたビンゴガードを作り、ビンゴを行った。一定の条件を満たした参加者はビーズを獲得し、最終的にビーズを多く持っていた人が景品を獲得する仕組みにした。

## 実施した感想:

英語と日本語のグループを作ったが自分は日本語の グループのみを担当していた。最初のルール説明以

外では使用言語は日本語のみだったのでもっと積極的に英語を使うべきだった。

## 気づいたこと(改善点など):

順位を明確にしようとしたことで従来は無かったルールをいくつか追加したが、英語と日本 語の両言語を使いそれらの内容を説明するのはテンポが悪かった。それよりは限られた時間 の中で参加者間の交流に時間を割くことを重要視すべきだった。

## 3.5 【11月】Speed Meeting Activity

日時:2022年11月16日(水)12:10-12:50 場所:国際棟2階 CALEフォーラム 参加人数:約30人(スタッフを含む)

## イベント概要:

対面で実施。時間を各2分の10ターンに区切り、 参加者はターン毎にペアを変えながらお題に従って 会話を行った。お題の内容は、好きな事柄について 問うものから「もし~なら、どうするか」といった 仮定の質問まで様々であり、初対面の学生どうしが 互いについて多方面から知ることができるようなお 題を用意した。使用したい言語を名札に記入しても らい、同じ言語を話す人どうしでペアが作りやすい 環境にした。

**実施した感想:**学部や学年、日本人学生や留学生の枠を越えて学生どうしが会話を楽しむ様子が見ら





れ、良い雰囲気であった。また、当イベントは短時間で自分の考えをまとめて簡潔に伝える 力が試される活動であったため、学生の発信力を向上させる機会にもなったと思う。

#### 気づいたこと(改善点など):

会話の相手を見つけるのに苦労している参加者もいたため、2人1組になる時にスタッフが 参加者をフォローできると更に良かったと思う。

## 3.6 【12月】Experience of New Year Card & Japanese Calligraphy

日時: 2022年12月14日(水) 12:10-13:00

場所:国際棟2階 CALEフォーラム 参加人数:約30人(スタッフを含む)

## イベント概要:

対面で実施。書道コーナーと年賀状コーナーに分かれて行った。書道コーナーには15名ほどが参加。 学生メンバーがお手本を見せながら、実際に半紙や 墨汁を使って日本語の言葉を書いた。年賀状コーナーには10名ほどが参加。野菜スタンプやシールなどを使いながら家族や友人宛に年賀状を書いた。

#### 実施した感想:

日本の年末年始の伝統行事を参加者の皆さんに紹介できてよかった。特に書道はキットがないと実施できないし、筆を使う機会もあまりないので、参加された人はとても有意義な時間を過ごせたと思う。時間があまりなかったが、それぞれ完成した作品を持ち帰り、家族に写真を撮って送ります!と楽しんでくれていた。



## 気づいたこと(改善点など):

年賀状の説明をする時にお手本を用意すればもっとスムーズに始められたかもしれない。当日はネットで写真を見つけ説明を行った。最後に参加者に渡された温かい飲み物は好評だった。

## 3.7 【2月】SPORTS DAY

日時:2023年2月21日(火)14:00-16:00 場所:東山キャンパス 第一体育館

参加人数:約30人(スタッフを含む)

#### イベント概要:

第一体育館にて、参加者 20 名でバレーボール、ドッジビー、バドミントンの順でスポーツを行った。バレーボールは3チーム、ドッジビーは2チーム、バドミントンは4コートでダブルス形式にて、それぞれのスポーツを試合形式で実施をした。

#### 実施した感想:

どのスポーツも基本的なルールは皆知っていたこともあり、参加者の方は皆気軽に楽しめていたと思う。同じチームでスポーツを行うとコミュニケーシ



ョンが取りやすいこともあり、他参加者との交流を目的としている方には非常に良い機会になったと思う。2時間で3種類のスポーツを行ったが時間もちょうど良かったと思う。

#### 気づいたこと(改善点など):

基本的にどのスポーツも盛り上がっており、怪我もなく皆楽しめたと思う。ただ、ドッジビーは1チーム当たりの人数が多いことに加え、スピード感がないことから途中でだれてしまったように感じた。次回もドッジビーを行うのであれば、1チームあたりの人数を減らすか、コートを狭くする、フリスビーの枚数を増やすなどの工夫が必要と感じた。

## 4. メンバー紹介

#### •早川佳太 経済学部経済学科4年

3年間コーヒーアワーで本当に楽しく活動することができました。活動に携わってくださった皆さんにここで御礼申し上げます。今後もコーヒーアワーの楽しい活動が続き、本学の国際交流推進に資することをお祈りしております。

#### · 堀井美南 文学部人文学科1年

コーヒーアワーの活動を通じて、国際交流活動における基本である、多様性を考慮した企画・運営の仕方を学ぶことができました。来年度以降も、日本人と留学生が共に楽しめるようなイベントを作っていきたいです。

#### ・石川幹 工学部機械・航空宇宙工学科2年

今年度からコーヒーアワーにスタッフとして参加し、より多くの国際交流の機会を得られ、 毎回楽しく活動することができました。来年度もスタッフメンバーとして、名大の国際交流 促進に貢献していきたいです。

#### • 小島未莉 経済学部経済学科 4 年

長くて2時間、という短い時間の中で留学生と交流ができるコーヒーアワーは、国際交流の 入口に不可欠であると思います。来年度もたくさんの人が楽しめるイベント作りを継続して いきたいです。

### ·岡田英美里 G30 農学部応用生命学科 2 年

途中から参加したにも関わらず、快く受け入れてくれたメンバーや先生方のお陰でとても有意義な活動ができました。これからも留学生と日本人学生両者の観点を持ち合わせる G30 生として、良いイベント作りに貢献していきたいと思っています。

#### • 宮山隆志 理学研究科 修士2年

途中参加の最年長者でしたが柔らかく迎えてくださり、気持ちの良い活動をすることができました.また、アカデミックの場面でしか英語に触れる機会がなかったですが、コーヒーアワーを通してより日常的で自然に英語を使う機会を得ることができました.

## • 入江遥斗 農学部応用生命学科1年

留学生の方々が日本にいる間の思い出になるような経験を作り出すことができたと思います。自分自身、英語で話す機会もたくさんあったので対面での活動が可能になりつつあった時期に参加できてよかったです。

#### ・アンドリュシュカイテ・アグネ 環境学研究科 修士2年

前はコロナでやられなかった、様々な新鮮なイベントが開催できて本当に良かったと思います。これからも、日本人学生も留学生も楽しめる機会を作っていきたいです!

## ・ルイシア・エデリン G30 農学部応用生命学科 2 年

コーヒーアワーのメンバーたちと一緒にイベントを開催するのはとても楽しいことだと思います。他の留学生や日本人学生と出会えてとても嬉しいです。また、ミーティングでたくさんの日本語を練習することができ、とても良いことだと思います。